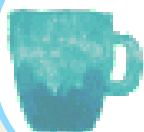


2011.08発行



皆さんこんにちは！

今回、DCMは新たな門出を迎えました。それに伴い、マッパー通信を発行しました。内容は「研修報告」から「各地区世話人の方の一言」、「大府センターからのお知らせ」など、研修の参加の有無に関わらずDCMを思い浮かべてもらいたいという気持ちで作成しました。

是非、読んでください！！

東海地区世話人 浅井紫♡佐藤愛子



《DCM8版バージョンアップ研修を開催しました》

平成23年6月24日（in名古屋）と7月9日（in東京）にDCM第8版へのバージョンアップ研修を開催しました。内容は、「7版から8版の変更点を含めた8版の概要説明と練習」で、2日間で202名のマッパーの方に参加いただきました。

皆様から「実際にマッピングはしていないが、しようと思った」「7版より整理されており、わかりやすくなった」「8版になれるようにテキストを熟読したいと思った」など前向きな御意見を多数いただきました。ありがとうございました。

今後は熱い思いを持っている皆様のサポートができるよう、DCM推進室一同尽力して行きたいと思います。よろしくお願いします。

研修風景です



認知症介護研究・研修大府センター DCM推進室





東海地区 阿部邦彦さん

地区世話人の皆様から一言 「バージョンアップ研修に参加して」

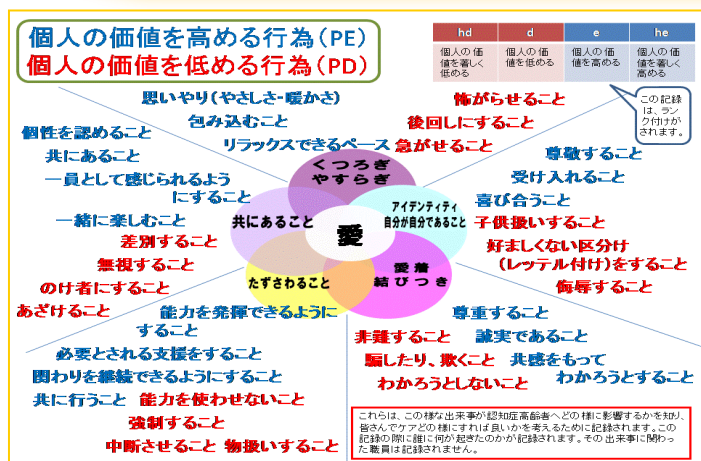


マッパーの皆様、こんにちは。東海地区の世話人をしている浜松の阿部です。今回は私が勤務する医療法人社団和恵会でのパーソン・センタード・ケアの推進について紹介させていただき、第8版への移行について準備していることなどを書かせていただきます。

当法人では、平成21年1月にパーソン・センタード・ケア推進委員会を設置し、法人内でのパーソン・センタード・ケアの推進に取り組んでいます。委員は16名おり、看護職・介護職・リハビリ職の混成で、法人内施設の部長・総師長・師長・課長・主任で構成されており、内マッパーは上級1名、基礎4名です。現在の活動は職員へのパーソン・センタード・ケアについての教育を行うことと、認知症ケアマッピングを通じて職員が主体的となってケアについて考えていく機会を持つことです。

委員会発足時は、法人としての年度方針を「人の尊厳の追及」と掲げておりました。パーソン・センタード・ケアへの取り組みは、その具体化のために始まりました。現在は、看護・介護部の年度の取り組みに「パーソン・センタード・ケアへの理解を高める」という目標が掲げられています。この中で認知症ケアマッピングも継続的に行われ、マッピングを受けて職員のモチベーションが高まり、具体的な取り組みを始めた病棟も出てきました。しかし、すべての病棟で認知症ケアマッピングを行うには至っておらず、今後は実施する病棟を増やしていけるように準備しているところです。

さて、このような活動が行われる中、第8版へのバージョンアップ研修が行われましたが、当法人のマッパーは全員がこの研修を受けることができました。ME値の判断基準、PE・PDがニーズと結びついて、より現場で説明しやすくなったと感じています。半面、マッピングを行う側としては準備が必要で、実際にマッピングするためにマニュアルを読みこむだけでなく、第8版での短時間のマッピングを計画しています。さらにブリーフィングやパーソン・センタード・ケアの研修で用いる資料(図1)も新たにしているところです。実際に第8版への移行は、新たに基礎マッパーになった者がマッピングを行う時からと考えています。今回の改定は、より現場でDCMの結果が生かせるようにとの考えがあるとお聞きしていますが、私は副読本(DCM理念と実践)が目から鱗でした。この中には私たちが、ケアスタッフにいままで考えながら説明してきたこと、苦勞しながら考え実践してきたことが、わかりやすくまとめられています。良い状態の指標・よくない状態の指標も一部が変わっていますが、「力のある他者に抵抗することが困難であること」などは、現場にいるとまさしくそう感じることもあり、他にもそう感じるものが多く出てきます。よく読んで考えを深めていき、より良い形で、パーソン・センタード・ケアの推進が出来るようにと思うこの頃です。



最後に、バージョンアップ研修会に出て、マッパーの皆様の中で実際にマッピングを行えていない方が少ないことがとても気になりました。自分の所属する施設でマッピングをできる私の立場をととても幸せに思うと共に、交流会の世話人として今後は「実際にマッピングする機会を提供すること」が出来るように、微力ですがお手伝いさせていただきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

図1 PEとPDが5つのニーズとどのように関係するかを説明するために作った資料



地区世話人の皆様から一言 「バージョンアップ研修に参加して」

九州地区 荒牧弥生さん



今回の第8版への移行で特に印象深かったのは、やはり心理的ニーズの一つ一つにPE/PDが具体的に明示されたことです。正直、心理的ニーズに関しては勉強不足もあり漠然とした解釈でした。しかし今回の説明を聞き、私自身がスッと自分の中に落とし込めた様な気がしています。マッピング後のフィードバックにおいて、スタッフへの説明がよりしやすくなるはずです。今回の研修で改めてPCCの奥深さを感じましたし、もっと追求していきたいと思いました。1年に数回しか出会わない全国のマッパーさんもとてとパーソンセンタードな方々ばかりで、懇親会のお酒でホロ酔いになりながらも居心地のいい居場所だなあと…熊本には多くのマッパーがいます。まずは第8版と一緒に学んでいけたらと松永さんと話しているところです。

先生方、センターの皆様、ありがとうございました！



中国・四国地区 仲肥好美さん

8版の研修に参加していないと、マッパーとは言えなくなるのでは？と不安になり、参加した研修でした。やはり参加して良かったです。認知症方と同じ気持ちでした顔なじみの人と出会い、言葉を交わす、ただ、それだけで「ほっとする」また、マッピングしたいですと伝えと、「やろうね一緒に」と言って下さる大ベテランの方ほんとうにありがとうございました。研修会場、交流会場にいる間は心地よい環境だったのですが、いざ、ホテルに帰って、世話人としての報告書を仕上げる頃には心の中に、冷たい風が吹くのを感じてしまいました。余韻が残っているうちに報告は終わりましたが、第8版でのマッピング体験が今年の目標です。来年は介護保険制度も大きく変わる予定であり認知症を取り巻く環境も日々変化しています。そんな中、第8版も大きく変わりマニュアル、資料、理念と実践と3冊になりデータ集計ソフト付であること大きな変化です。内容について興味深かった事は、格下げルールの廃止とNの扱いのルールの廃止これは私が終了テストの際、大変だったからです。WIB値⇒ME値とすることで、より現場の人に判り易く説明できるように思います。PE、PDについても、5つの花びらの項目に沿ってグループ分けされており、またPE、PEの報告としてノーマルレベル、ハイレベルとグループに分けての報告により伝えやすくなったように思えます。時代の流れについていけるように、自分自身が柔軟な対応をとれるように何時か2人以上でマッピングできるようになりたいと思います。先生方が多くの時間を費やして完成した第8版まだ、実際に使用していませんが、また、どこかで小さな花を咲かせたいと思います。

これからも、全国のマッパーの皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

おばさんマッパーより





地区世話人の皆様から一言 「バージョンアップ研修に参加して」

東日本地区
関口清貴さん

全国のマッパーの皆様、始めまして、またご無沙汰しております。

東日本交流会で世話人をしていまして、2期生の関口清貴です。

この度、7月9日（土）に東京で行われました、DCM8版バージョンアップ研修に参加させて頂きました。東京の会場では、日本全国からそれぞれに活躍されているマッパーの方が参加され、同期の方や久しぶりに顔を合わす方、各地域で頑張られている方と交流させて頂き自分自身とても刺激と元気を頂きました。

今回の研修に参加させて頂いた8版の感想としては、原則は7版と何も変わっていないということです。（参加させて頂いて一番安心した点です）しかしより認知症の人の気持ちや行動をマッパーが分析しやすいように、また認知症の方を支える方がPCCやパーソンフッドを理解しやすいように改良を加えたと言う印象を受けました。

その分、単純になった点と少し複雑になった点がありましたが・・・。まだまだ8版では、どのように8版の特性を活かしたフィードバックするのかなど実際にやってみないと分からないことはありますが、今後、東日本交流会では世話人と有志のマッパーが集まり、勉強会を開きながら今回勉強した8版をより充実したものにしていきたいと考えています。

東日本交流会では、平成23年度は、今回の8版の勉強会や8版によるお試しまッピング、フルマッピング体験などさまざまなことを企画しております。

詳細については、DCM東日本交流会ホームページでお知らせをしています。興味のある方はぜひご検索ください。また皆様とどこかでお会いできるのを楽しみにしております。



大府センターからの —お知らせ—

DCM第7版から第8版へバージョンアップの変更に
伴い、DCMマッパーの皆様を対象に第8版のテキスト
を販売することになりました。

8月から申し込みを開始し、9月より順次発送します。

★販売内容

DCM（認知症ケアマッピング）第8版マニュアル1冊/D
CM（認知症ケアマッピング）理念と実践（副読本）1冊
2冊で1セット（1人様1セット）の販売となります。

★料金

6500円（テキスト代6000円+送料500円）

★申し込みにつきましては、認知症介護研究・研修大府セ
ンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際は、
「8版テキスト販売について」とお知らせください。

マッパー通信 担当者のつぶやき・・・

全国のマッパーの皆様へ

暑中お見舞い申し上げます。

夏本番になりましたが体調はいかがですか？
皆様が少しでも笑顔で過ごすことが出来ます
ように心をこめてレターをお送りいたします。
ご意見ご感想がありましたら下記まで御連絡
ください。

DCM第8版と、この夏を一緒に乗り切りま
しょう！！



発行：認知症介護研究・研修大府センター

〒474-0037 愛知県大府市半月町3-294

TEL：0562-44-5551 FAX：0562-44-5831

e-mail：jimubu.o-dc@dcnet.gr.jp

編集協力：浅井 紫 佐藤 愛子（東海地区世話人）